

令和3年度 大糸線活性化協議会 総会 会議録

日	令和3年6月4日	時間	14:00~14:45	場所	ヒスイ王国館2階 勾玉
件名	議案第1号 令和2年度事業報告 議案第2号 令和2年度収入支出決算 議案第3号 令和3年度事業計画 議案第4号 令和3年度収入支出予算 議案第5号 規約の改正について 議案第6号 役員の改選について				
出席者 (敬称略)	1 出席者 出席者名簿のとおり 2 事務局 産業部：齊藤部長 都市政策課：五十嵐課長、大西補佐、田中係長、金子主査、竹田主任主事 商工観光課：大嶋課長、中村係長、岡田主任主事				
会議要旨 1 開会 (14:00) 2 あいさつ (会長) 米田糸魚川市長 (鉄道事業者) 前田金沢支社長 (JR西日本) (沿線市村代表) 下川白馬村長 3 議事 米田市長が議長として進行する。 ■議案第1号・議案第2号 【事務局】議案第1号・議案第2号について説明 議案第1号 令和2年度事業報告について、概要を説明する。 4月から10月にかけて、旅行会社2社の関西エリア発着のパンフレットに掲載した。 令和2年度総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面にて開催し、令和2年度事業計画、予算等の承認をいただいた。 7月1日から、大糸線定期券購入費の一部助成の申請受付を開始し、申請件数は19件であった。 8月3日から、大糸線利用促進事業助成として、大糸線に乗るイベントに対しての助成を実施し、助成件数は3件であった。 8月21日に、大糸線観光モデルツアーとして、糸魚川から小谷・白馬方面へのツアーを実施し、16名参加いただいた。 9月18日から11月3日まで、えちごトキめき鉄道と北越急行との共催で駅スタンプラリーを実施し、大糸線では南小谷駅にスタンプを設置した。 10月には、公共交通の利用促進に関する住民アンケート調査として、糸魚川市と小谷村の住民3,000人に調査票を配布した。 10月13日と10月15日に、大糸線観光モデルツアーとして、糸魚川から大町方面へのツ					

アーを実施した。当初は1回の予定だったが、定員を超える申込みがあったため、2回実施し、39名参加いただいた。

11月1日から12月24日まで、大糸線に乗って温泉巡りをする、大糸線「鉄道×温泉」湯めぐり手形すたんぷらりいを実施し、59件応募いただいた。

11月23日に、3年振りとなる、えちごトキめき鉄道のリゾート列車 雪月花の大糸線乗入運行を糸魚川～南小谷間で実施し、大勢の方からお出迎えをしていただいた。

12月1日から、大糸線応援隊の隊員募集を開始し、3月31日現在の隊員数は316人である。

議案第2号 令和2年度収入支出決算について、決算額のみ説明する。

収入の部では、1負担金は、360万円であり、内訳については備考欄のとおりである。

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部を中止したことに伴い、予算額の半額を納入いただいたものである。

2繰越金は、325万7,955円であり、前年度からの繰越金である。

3雑収入は、39円であり、預金利息である。

以上、収入合計は、685万7,994円となっている。

支出の部では、1会議費および2事務費の支出はない。

3事業費は、419万6,869円であり、主なものとして、湯めぐり手形事業に115万686円、雪月花大糸線乗入運行などの企画列車に140万593円、大糸線応援隊事業に48万374円、イベント助成に17万420円 等となっている。

4予備費の支出はない。

以上、支出合計は、419万6,869円となっている。

収入金額685万7,994円から支出金額419万6,869円を差し引いた266万1,125円については、翌年度へ繰り越しとする。

【監事】会計監査について報告

【質疑応答】なし

議案第1号・議案第2号は承認された。

■議案第3号・議案第4号

【事務局】議案第3号・議案第4号について説明

議案第3号 令和3年度事業計画について、説明する。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、鉄道事業者との協働・協力、関係自治体との広域連携を活かし、直接「乗り」につながる事業を展開していきたいと考えている。

「1 会議の開催」については、協議会の規約にある総会と幹事会のほか、必要に応じて担当者会議も開催する。

「2 生活利用の促進」では、「(1) 潜在利用者への働き掛け、新規利用者の開拓」として、引き続き、沿線住民への大糸線利用促進の情報発信を行う。大糸線の糸魚川駅から南小谷駅間の定期券購入費の一部助成は助成額を30%から50%に拡充する。

「3 観光利用の強化」では、「(1) 沿線の観光魅力や集客力の創出と向上」として、大糸線を利用して沿線の温泉施設をめぐる「湯めぐり手形」事業、大糸線を利用した観光モデルコースの作成を引き続き行う。「(2) 沿線の観光魅力の情報発信」として、ホームページ

ジやインスタグラム、YouTube などを利用して、また大糸線応援隊の隊員などに協力をいただき、大糸線関連の情報発信を行う。「(3) Hakuba Valley と連携した観光振興」として、旅行会社の大糸線の乗車が含まれる関西方面からのツアーの企画・広告宣伝、観光キャンペーンを引き続き行う。「(4) 訪日外国人の誘客促進や鉄道ファンの取り込み」として、えちごトキめき鉄道及び北越急行と連携したスタンプラリー、大糸線沿線の宿泊施設の宿泊者へ大糸線無料券(回数券)の配布、シーフードシャトルバスとの連携を引き続き行う。大糸線応援隊事業については、隊員からのアイデアもいただきながら引き続き利用促進に取り組む。あわせて、新型コロナウイルス感染症終息後の訪日外国人の誘客促進に向けて、情報発信を行う。「(5) 車両自体の観光魅力や輸送サービスの創出と向上」として、企画列車は、鉄道ファン向けや子ども向けの企画、サイクルトレインなど鉄道事業者や関係団体と調整して取り組む。北アルプス日本海広域観光連携会議と連携し、サイクリストが列車内に自転車を持ち込む際に使用する輪行バッグ貸出しの取組を引き続き推進する。

「4 地域連携・協働」では、大糸線乗車を条件としたイベント等への助成、大糸線沿線で花の植栽を行う「花いっぱい事業」を引き続き行う。

「5 その他」では、「事業計画の確認・振り返り」として、事業実績や平均通過人員などにより、事業計画の振り返りを行いたいと考えている。

事業の実施については、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、実施時期や実施内容など協議のうえ進める。

議案第4号 令和3年度収入支出予算について、予算額のみ説明する。

収入の部では、1 負担金は、720 万円を計上しており、内訳については、備考欄に記載のとおりである。

2 繰越金は、266 万 1,125 円を計上しており、前年度からの繰越金である。

3 雑収入は、875 円を計上しており、預金利息等である。

以上、収入合計は、986 万 2,000 円となっている。

支出の部では、1 会議費は、5 万円を計上しており、総会等の開催経費である。

2 事務費は、5 万円を計上しており、内訳については、事務用消耗品代等である。

3 事業費は、970 万円を計上しており、内訳については、備考欄に記載のとおりである。

4 予備費は、62,000 円を計上している。

以上、支出合計は、986 万 2,000 円となっている。

なお、事業計画、執行状況等に応じて、科目間の予算流用ができるものとし、次年度の総会開催時までの経費の執行については、会長に一任願いたいものである。

【質疑応答】

(会 員) 事業費の予算額が昨年度より 60 万円減額となっているが、どこを増やして、どこを減らしたか教えていただきたい。

(事務局) 定期券購入費助成を 10 万円から 20 万円に増額、沿線の観光魅力の情報発信を増額、企画列車を 250 万円から 200 万円に減額などである。

議案第3号・議案第4号は承認された。

■議案第5号

【事務局】議案第5号について説明

議案第5号 規約の改正について、説明する。

令和3年4月1日の糸魚川市の組織改正に伴い、事務局が建設課から都市政策課に変更になったことにより、改正したいものである。改正箇所については、規約案12ページの第13条・事務局の部分である。

【質疑応答】なし

議案第5号は承認された。

■議案第6号

【事務局】議案第6号について説明

議案第6号 役員の改選について、説明する。

現行役員の任期2年満了に伴い、新たに役員を選出するものであり、会長1名、副会長1名、監事2名を選出いただきたいものである。

選任については、事務局一任の声。

【事務局】事務局案を説明。

会長には、米田糸魚川市長、副会長には、中村小谷村長、監事には、佐瀬新潟県交通政策局長、伊藤長野県企画振興部長を提案する。

【質疑応答】なし

議案第6号は承認された。

4 その他

※なし

5 閉会（14:45）

以上